

平成27年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2015

平成27年度

福岡アジア美術館年報

Fukuoka Asian Art Museum Annual Report 2015

目 次

■ 展示事業	
1 特別企画展	04
2 小企画展	08
3 コレクション展	09
■ 交流事業	
1 招聘事業	12
2 受入支援事業	16
3 地域交流事業	16
■ 教育普及事業	
1 体験学習、博物館実習等	17
■ ミュージアム施策事業	18
■ ボランティア事業	19
■ 広報活動	22
■ 所蔵作品	
1 新所蔵作品	26
2 貸出一覧	27
3 修復一覧	29
4 所蔵品等の掲載一覧	30
■ 入館者数	32
■ 活動記録	36
■ 概要	
1 基本理念	40
2 活動内容	41
3 施設概要	42
4 沿革	46
■ 名簿	47



展示事業

NTT西日本スペシャル

「おいでよ！絵本ミュージアム2015 ～つながる・ひろがる～」



会 期 2015年7月24日(金)～8月20日(木)
 会 場 企画ギャラリー、彫刻ラウンジ、あじびホール
 主 催 福岡アジア美術館、西日本新聞社、TNCテレビ西日本、NPO法人子ども文化コミュニティ
 特 別 協 賛 NTT西日本
 協 力 岩井俊雄、内田麟太郎、おおでゆかこ、五味太郎、山本孝、わかやまけん、渡邊千夏、偕成社、こぐま社、童心社、福音館書店、しくみデザイン、佐野彰、高橋真理子、NTTコミュニケーション科学基礎研究所、ホテルオークラ福岡、エフコープ生活協同組合
 後 援 福岡県、福岡県教育委員会、福岡市教育委員会、(公財)福岡市文化芸術振興財団、福岡県私立幼稚園振興協会、福岡県PTA連合会、福岡市PTA協議会、福岡県子ども会育成連合会、福岡県教職員互助会、西日本鉄道、九州旅客鉄道、西日本リビング新聞社、cross fm、FM福岡、LOVE FM
 開 催 日 数 28日間
 観 覧 者 数 50,351人

シリーズ9回目になる今回のテーマは、「つながるひろがる～絵本でめぐる一年～」。子どもの中に限らない力と可能性がどこまでも広がってほしいと願い「つながるひろがる」をテーマにした企画。世を越えて受け継がれてきた日本の文化や季節の行事をテーマにした絵本を中心に、絵本の世界が飛び出したような空間展示を行った。自由に手に取って読むことができる約1,000冊の絵本展示では、笑いが止まらないナンセンス絵本、夏にぴったりの怖いけど楽しいおばけの絵本を特集した。また、NTTグループの協力のもと、先端のデジタル技術を活用した展示コーナーも設けた。

彫刻ラウンジでは、ワークショップなどの体験型

イベントや絵本の読み聞かせ、アジアギャラリーでは関連したテーマで子どもでも楽しめるような常設展示を行い、福岡アジア美術館全体を使った。特別協賛社のNTT西日本グループの協力による先端のデジタル技術を活用した展示では、コミュニケーションの楽しさを体感できる展示が人気だった。

ポ ス タ ー B2 おおでゆかこ(原画)・ファクトリー・エム(デザイン)
 チ ラ シ A3 おおでゆかこ(原画)・ファクトリー・エム(デザイン)

関 連 事 業 □プレイベント
 「絵本作家山本孝さんといっしょにこいのぼりをつくろう！」
 講師：山本孝(絵本作家)
 日時：7月12日(日)13:00～14:00、15:00～16:00
 会場：彫刻ラウンジ
 □オープニングスペシャルイベント
 「リレートーク」
 出演：山本孝(絵本作家)、中村俊介(しくみデザイン)、いわいとしお(絵本作家)
 進行：新垣泉子(TNCアナウンサー)
 日時：7月24日(金)11:00～11:30
 会場：彫刻ラウンジ
 □ワークショップ
 「おばけやしきをつくろう！」
 講師：山本孝(絵本作家)
 日時：7月24日(金)13:00～15:00
 会場：彫刻ラウンジ
 □ワークショップ
 「いろえんぴつでつくろう！プラバンブローチ」
 講師：おおでゆかこ(絵本作家)
 日時：7月25日(土)、26日(日) 各日10:30～12:00
 会場：彫刻ラウンジ
 □ワークショップ
 「こいのぼりをつくろう」
 講師：山本孝(絵本作家)
 日時：7月25日(土)13:00～15:00
 会場：彫刻ラウンジ
 □対談
 「絵本と子育て おとうさんといっしょに！」
 講師：内田麟太郎(絵本作家)、山本孝(絵本作家)
 進行：齋藤裕樹(NPO法人ファザーリングジャパン九州理事)
 日時：7月26日(日)13:00～14:30
 会場：あじびホール
 □ワークショップ
 「読み方立体図鑑をつくろう！」
 講師：植月美希(青山学院女子短期大学准教授)、丸谷和史(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
 日時：8月1日(土)11:00～12:00、13:00～14:00、

- 15:00～16:00
会場:彫刻ラウンジ
- ダンス・ワークショップ
「うごきだす絵本」
講師:神崎由布子(舞踏家・振付家)
日時:8月4日(火)～8日(土) 各日13:00～16:00
会場:彫刻ラウンジ
- ワークショップ
「みんなでかがみのえほんをつくろう!」
講師:わたなべちなつ(絵本作家)
日時:8月8日(土)、8月9日(日)
各日13:00～15:00
会場:彫刻ラウンジ
- スーパーファンタジーライブ 絵本ミュージアムバージョン
「星と音楽と私たちをつないで」
講師:高橋真理子(宙先案内人)、小林真人(ピアノ演奏)、山本晶子(打楽器演奏)
日時:8月9日(日)11:00～12:00、14:00～15:00
会場:あじびホール
- ワークショップ
「おがくずでできた粘土で遊ぼう」
「ジュースの糖度実験」
提供:エフコープ生活協同組合
日時:8月12日(水)、13日(木)、14日(金)
各日10:00～17:00
会場:彫刻ラウンジ
- うみの100かいだてのいえワークショップ
「へんしんテンちゃんをつくろう!」
講師:いらいとしお(絵本作家)
日時:8月15日(土)13:00～15:00、
16日(日)10:30～12:30
会場:彫刻ラウンジ
- 絵本ワークショップ
講師:子ども文化コミュニティ
日時:7月27日(月)～31日(金)、
8月3日(月)～7日(金)、10日(月)、11日(火)、
17日(月)～20日(木)、
各日3回(11:00～12:00、13:00～14:00、
15:00～16:00)
会場:彫刻ラウンジ
- 絵本の読み聞かせ
出演:TNCアナウンサー(田久保尚英、新垣泉子、
橋本真衣、津野瀬果絵)
日時:毎週金曜日 11:30～、13:00～
会場:ラウンジM8

2015. 7.11 西日本新聞(夕)「遊ぼう、物語の世界で」
2015. 7.18 西日本新聞(夕)「絵本ミュージアム プレゼントです」
2015. 7.23 西日本新聞(朝)「NTT西日本スペシャルおいでよ! 絵本ミュージアム2015」
2015. 7.27 西日本新聞(夕)「NTT西日本スペシャルおいでよ! 絵本ミュージアム2015」
2015. 7.30 西日本新聞(夕)「絵本ミュージアム デジタル使った展示も」
2015. 8. 9 西日本新聞(朝) 大田精一郎、古賀亜矢子「絵本ミュージアムから⑤好奇心を刺激し創作も」

関連放送

2015. 7.24 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア
2015. 7.25 TNCテレビ西日本 FNNスピーク
2015. 7.25 TNCテレビ西日本 ももち浜ストア
2015. 7.31 TNCテレビ西日本 TNCニュース

関連記事

2015. 6.16 西日本新聞(朝)「子供の想像力高めよう」
2015. 6.22 西日本新聞(夕)「NTT西日本スペシャルおいでよ! 絵本ミュージアム2015」
2015. 7. 9 西日本新聞(夕)「絵本作家山本孝さんと一緒にこいのぼりをつくろう!」

日韓近代美術家のまなざしー「朝鮮」で描く



会期	2015年12月17日(木)～2016年2月2日(火)
会場	企画ギャラリー
主催	福岡アジア美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、FBS福岡放送
後援	外務省、駐日韓国大使館、韓国文化院、駐福岡大韓民国総領事館、韓国観光公社福岡支社
協賛	ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、大韓航空、LGエレクトロニクス、大東園
助成	公益財団法人ポーラ美術振興財団
監修	金炫淑(成均館大学校 兼任教授)
学術協力	韓国国立現代美術館、金惠信(沖縄県立芸術大学准教授)、横須賀美術館、本展研究会
協力	光州市立美術館
開催日数	36日間
観覧者数	3,766人

本展は、20世紀前半の日本と韓国の美術、そして美術家どうしの交流に焦点をあてた展覧会で、日本による朝鮮半島の統治という社会的矛盾に満ちた「近代」において、日韓両国の美術家たちが、自らをとりまく世界の限界や苦難、葛藤を抱えながらも、それらを越えようとするまなざしをもち、豊かな表現活動を行った軌跡をたどった。

藤島武二や山田新一、荒井龍男、山口長男、浅川伯教・巧など、韓国にゆかりの深い日本近代美術を代表する作家たち。コ・ヒドンやイ・インソン、イ・ジュンソプ、キム・ファンギ、イ・クエダなど、日本との交流をもつ韓国近代美術の巨匠たち。彼らの代表的な作品に加えて、これまでほとんど注目されてこなかった戦前の在「朝鮮」日本人作家の作品なども、最新の研究成果をふまえて紹介した。

ポスター	B2	マツダヒロチカデザイン事務所(デザイン)
チラシ	A4	マツダヒロチカデザイン事務所(デザイン)
図録		坂井編集企画事務所(デザイン)

- 関連事業 □オープニングイベント
- 韓国観光公社福岡支社スペシャル「NANTA特別講演」「ハングルPOPアートイベント」
日時:12月17日(木)10:00～12:00
会場:彫刻ラウンジ・ロビー(7階)
- 映画上映
- ①「朝鮮海峡」(1943)
②「ふたつの祖国、ひとつの愛～イ・ジュンソプの妻～」(2015)
日時:1月22日(金)18:00～、23日(土)14:00～、16:00～、29日(金)18:00～、31日(日)14:00～
会場:あじびホール
- イベント
- 韓国海苔巻き「キムパッ」を巻こう！
講師:俞成淑[ユウ ソンスク](焼肉・冷麺「大東園」オンマの手料理担当)
日時:1月19日(火)、26日(火) 各日11:00～12:30
会場:FAAM CAFE
- イベント
- チマ・チョゴリで巡る展覧会
講師:李善姫[イ・ソニ](冷泉荘ソニ韓国語教室主宰)
日時:1月15日(金)、24日(日)
各日10:30～12:30、14:00～16:00
会場:あじびホールおよび企画ギャラリー
- 研究会
- 戦前期の日韓美術交流(民族藝術学会研究例会)
日時:1月30日(土)14:00～17:00
会場:あじびホール

関連記事

2015. 3.27 東洋経済日報 「20世紀前半、韓日美術の多元的交流」
2015. 5. 2 読売新聞(朝) 「日韓近代美術家のまなざしー『朝鮮』で描く」
2015. 7. 美術手帖 沢山遼「REVIEWS『朝鮮』表象をめぐる事実と痕跡」pp.164-165
2015. 9.28 読売新聞(朝) 「日韓近代美術家110人作品展示」
2015.11.14 読売新聞(朝) 白石知子「朝鮮描いた日本画家ら」
2015.11.30 読売新聞(朝) 「日韓近代美術家200点展示」
2015.12. 5 読売新聞(朝) 「美術展 日韓近代美術家のまなざし」
2015.12. 7 西日本新聞(夕) 「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」
2015.12.18 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「㊤豊かな生活近代化の象徴」
2015.12.19 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「㊤家族たちへの熱い思い」
2015.12.20 読売新聞(朝) ラワンチャイクン寿子「㊤人々の営み雄大、荘厳に」

- 2015.12.26 読売新聞(朝) 白石知子「回顧2015 戦争伝え続ける
強い意志」
2016. 1. 8 読売新聞(朝) 「日韓近代美術家のまなざし 『朝鮮』
で描く展関連イベント」
2016. 1. 8 西日本新聞(朝) 酒井充子「画家 イ・ジュンソプと家
族の物語を追って」
2016. 1.16 日経新聞(夕) 「美術ガイド 日韓近代美術家のまな
ざしー『朝鮮』で描く」
2016. 1.26 朝日新聞(朝) 山崎聡「イメージの差 鮮明に浮かぶ」
2016. 1.30 西日本新聞(朝) 南陽子「『朝鮮』をめぐる、複雑さそ
のものの提示」
2016. 3. 1 読売新聞(朝) 「美連協大賞など発表」
2016. 4.20 読売新聞(朝) 「アジア美術館に美連協大賞 日韓の
近代美術家に焦点」
2016. 4.27 読売新聞(朝) 「大賞は『日韓近代美術家のまなざしー
『朝鮮』で描く』」

関連放送

2016. 1.10 NHK Eテレ 日曜美術館「分かれた故郷 妻へー画家
イ・ジュンソプとマサコ」

アジアギャラリーでは、テーマごとに特設コーナーを設け、2〜3ヶ月おきに展示替えを行った。平成27年度の特設コーナーで開催した展覧会は下記のとおりである。

うるわしきイスラーム・スタイル

2015年3月26日(木)〜5月26日(火)

イスラームの美術といえば思い浮かぶ美しいカリグラフィーや幾何学文様。こうした静謐で抽象的な表現の一方で、人物が描かれた細密画や、キッチンでエネルギーな大衆美術もまたイスラーム世界で楽しまれてきた。本展では、イスラーム世界に生きるアジアの現代作家による多様な表現18点を紹介。

掲載記事

- 2015. 3.23 西日本新聞(夕) 「うるわしきイスラーム・スタイル」
- 2015. 3.26 西日本新聞(朝) 「情報トピック! うるわしきイスラーム・スタイル」
- 2015. 4. 2 朝日新聞(朝) 山崎聡「イイカモ! イスラーム社会を知るヒントに」
- 2015. 4.23 毎日新聞(朝) 山崎あすさ「世界観を知る糸口に」

一粒の希望 ―土地は誰のもの?!

2015年9月3日(木)〜12月15日(火)

アジアの大地は、古来よりそこで暮らす人々の生活や文化を育んできたが、西洋列強による植民地化や近年の大規模開発は、人々からその大地を奪ってきた。インドネシアのタリン・パディの木版画を中心に、社会的メッセージの強い作品を通して、民衆と土地について考えた。

フシギ? の世界 ―ここではないどこかへ

2015年9月3日(木)〜12月15日(火)

まるで魔法がかけられた世界に迷い込んだような、不思議な作品20点を紹介した。私たちのあたりまえの日常が思いがけない姿で見えてくる作品や、視覚的に惑わされるようなゆがんだ世界の作品など、少し怖くて変わった世界へといざなった。

韓国アート 1965-2015

2015年12月17日(木)〜2016年4月19日(火)

日韓国交正常化50周年を記念し、アジアでも早くから現代的な表現が展開した韓国美術から、選りすぐりの作品を紹介した。韓国抽象絵画を牽引したパク・ソボ、韓国初の実験映画を制作したキム・グリム、重層的な歴史の記憶へといざなうチョー・ドキョンらの作品24点を展示した。

掲載記事

- 2015.12.26 日本経済新聞(夕) 「日韓国交正常化50周年記念事業 コレクション展 韓国アート1965-2015」
- 2016. 1. 4 西日本新聞(夕) 「韓国アート1965-2015」
- 2016. 2.26 大分合同新聞 「韓国アート振り返る」
- 2016. 2.29 西日本新聞(夕) 「韓国アート1965-2015」
- 2016. 3. 4 西日本新聞(朝) 「情報トピック! 韓国アート1965-2015」

冬のおとなミュージアム

秘密 ―かくす・のぞく・あばく

2015年12月17日(木)〜2016年4月19日(火)

福岡アジア美術館、福岡市美術館、福岡市博物館の3館が同じテーマで所蔵品展を開催する共同企画シリーズ第2弾。今年のテーマは「秘密―かくす・のぞく・あばく」。当館では「のぞく」を入口に、秘密の怖さを想起させる作品などを紹介した。

掲載記事

- 2015.12. 8 西日本新聞(夕) 「冬のおとなミュージアム 秘密 かくす・のぞく・あばく」
- 2015.12.12 西日本新聞(朝) 「情報トピック! 冬のおとなミュージアム 秘密 かくす・のぞく・あばく」
- 2015.12.18 読売新聞(朝) 「冬のおとなミュージアム 秘密 かくす・のぞく・あばく」
- 2016. 1.15 西日本新聞(夕) 「冬のおとなミュージアム 秘密 かくす・のぞく・あばく」
- 2016. 1.18 朝日新聞(朝) 山崎聡「イイカモ! 隠されるほど見たくなる」
- 2016. 1.20 読売新聞(朝) 白石知子「美術の味わい深さを体感 美術・博物館 工作、謎解き・・・催し様々」



交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、様々な美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。



アンジー・シア
(シンガポール)

1979年生まれ
シンガポール在住
滞在期間: 2015年5月20日～7月28日

□主な活動

①作品制作

中学生と体や日用品を使って音を出して表現する「日常アンサンプル」を結成し、2回の練習の後、成果展初日に発表をおこなった。その他、日常をテーマにした映像、写真、フォトブック、ドローイングを制作した。

②パフォーマンス

●7月4日

即興ライブ「UNsembles」①

出演者: アンジー・シア、サネマツアキラ、山内桂

参加者: 一般44人

場 所: あじびホール

●7月5日

即興ライブ「UNsembles」②

出演者: アンジー・シア、サネマツアキラ、小瀬泉、中村勇治ほか

参加者: 一般32人

場 所: art space tetra

③ワークショップ

●6月27日

「エイゴでアート! アジアのアーティストとレッツ交流♪」(第5回 It'sエイゴTIME)

参加者: 親子19人(公募)

場 所: 交流スタジオ

●7月6日、13日

「毎日の音」

参加者: 西南学院小学校 5年生 71名

場 所: 西南学院小学校

●7月11日、18日

「日常アンサンプル」

参加者: 福岡市立三筑中学校 美術部他 13人

場 所: 三筑中学校

④トーク

●5月24日

滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～

聴講者: 一般37人

場 所: あじびホール

⑤展覧会

●7月25日～8月10日

「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者: 一般1063人

場 所: 交流ギャラリー





ファンコグラフィック
(モルディブ)

1982年生まれ
マレ在住
滞在期間: 5月20日～7月28日

□主な活動

①作品制作

福岡のファッションデザイナー天本誠司氏との共同制作で、天本氏がデザイン、制作した日本とモルディブをテーマとしたオリジナルの服を福岡のモデルが着用し、福岡市内5カ所で撮影した「フュージョン・プロジェクト」と、一般募集したペットと飼い主17組を撮影した「ラブケミカル・プロジェクト」の二つのプロジェクトをおこなった。

②ワークショップ

●6月9日、11日

「Portrait Photography」

参加者: シンガポール、聖なる子キリスト修道院中学校 8人
場 所: 交流スタジオ

●7月10日

「アーティストとあそぶ! 撮る! 撮られる!」
(「ママとこどものアートじかん」)

参加者: 乳幼児と母親 10組
場 所: 交流スタジオ

●7月19日

「ヘアメイク・フォトグラフィー」

参加者: 福岡ベルエポック美容専門学校 5人、モデル 5人
場 所: 交流スタジオ

③トーク

●5月24日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
聴講者: 一般37人
場 所: あじびホール

●7月2日

「スタジオ訪問とトーク」

福岡市立和白丘中学校 2年生 229人、交流スタジオ

④展覧会

●7月25日～8月10日

「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート1」

観覧者: 一般1063人

場 所: 交流ギャラリー





ジュジュ・ユ
(韓国)

1982年生まれ
ソウル在住
滞在期間:9月16日～11月24日

□主な活動

①作品制作

スーパーマーケットの市販品を使って、ミュージアムに展示されている芸術品・工芸品を制作する「スーパー・ミュージアム・プロジェクト」の福岡版として「博多祇園山笠」をテーマに、子供山笠の舁き山と人形4体を身近な素材で装飾を施したインスタレーション作品と写真作品を制作した。

②ワークショップ

●10月16日

「はな・ハナ・プロジェクト」

参加者:福岡市立有田小学校 3年生 85人

場 所:あじびホール、彫刻ラウンジ

③トーク

●9月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

聴講者:一般42人

場 所:交流スタジオ

④展覧会

●11月21日-12月7日

「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:一般774人

場 所:交流ギャラリー

⑤地域交流イベント

●10月17日

「博多リバレイン灯明」

観覧者:1,700名

場 所:博多リバレイン
フェスタスクエア



チュンリン・ジョリーン・モク
(中国)

1984年生まれ
香港在住
滞在期間:9月16日～11月24日

□主な活動

①作品制作

川端商店街の16店舗の朝の開店時と営業中の様子を撮影した映像作品「店を見る」と、福岡市民の憩いの場となっているアクロス福岡のステップガーデンを福岡市役所本庁舎14階から20日間定点撮影した映像インスタレーション「Shiawase no Oka (幸せの丘)」を制作した。

②ワークショップ

●11月10日

「ストップモーション・アニメーションの創作体験」

参加者:春日市立春日北中学校 1年生 141人

場 所:春日北中学校

③トーク

●9月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

聴講者:一般42人

場 所:交流スタジオ

④展覧会

●11月21日-12月7日

「第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2」

観覧者:一般774人

場 所:交流ギャラリー





ダイアナ・キャンベル・ベタンコート
(アメリカ)

1984年生まれ
ムンバイ(インド)在住
滞在期間:2月15日～3月26日

□主な活動

①調査研究

当館所蔵の作品や資料をつかって、南アジアの現代美術についての調査研究を行なった。

②トーク

●3月13日

「あじび美術講座2016 連続講座 南アジアの現代美術① 南アジアの国際展」

聴講者:一般39人

場 所:あじびホール

●3月21日

「あじび美術講座2016 連続講座 南アジアの現代美術② 南アジアのパブリックアート」

聴講者:一般38人

場 所:あじびホール

交流事業

2 受入支援事業

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



ミンストレイル・クイ・チン・チー
(マレーシア)

1976年生まれ
カジャン(マレーシア)在住
滞在期間:2016年2月25日～3月25日

シンガポール・ユナイテッド・オーバーシーズ銀行からの助成で来日。新作のため、1950-60年代の日本映画における女性の描かれ方について調査をおこなったほか、日本人の女性たちと一緒に映画をみて意見を交換するワークショップを行なった。

交流事業

3 地域交流事業

「博多リバレイン灯明」 (「第21回博多灯明ウォッチング2015」同時開催)

10月17日(土)18:00～21:00
場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたジュジュ・ユ(韓国)が参加した。数千個の灯明をつかって、平和の象徴である鳩を表現した。あわせて、韓国の杖鼓(チャンゴ)と日本の琴によるミニコンサートをおこなった。



教育普及事業

1 体験学習、博物館実習等

◎団体見学(学校)

鹿児島県鹿屋市立高隈中学校	2年生	24人	5月12日(修学旅行)
福岡市立今津特別支援学校中等部	1・2・3年	28人	5月19日(総合学習)
九州産業大学付属九州高等学校	83人	5月21日(学校行事)	
福岡市立和白丘中学校	1年生	242人	7月2日(美術)
飯塚市立庄内中学校	1・2・3年生	16人	7月21日
久留米市立良山中学校		17人	8月17日(部活動)
福岡市立香椎第一中学校	1年生	32人	8月27日(美術)
福岡市立南当仁小学校	6年生	115人	9月11日(図工)
福岡市立飯倉中央小学校	6年生	64人	9月14日(図工)
福岡市立愛宕小学校	6年生	134人	9月15日(図工)
福岡市立脇山小学校	6年生	17人	9月15日(図工)
福岡市立柏原小学校	6年生	96人	9月17日(図工)
福岡市立西長住小学校	6年生	56人	9月17日(図工)
福岡市立早良小学校	6年生	39人	9月17日
太宰府市立太宰府東小学校		8人	9月29日
福岡市立小呂小学校		8人	10月1日(学校行事)
弘学館高等学校		130人	10月1日(学校行事)
福岡市立原北中学校		230人	10月8日(総合学習)
福岡市立有田小学校		88人	10月16日 (総合学習、図工)
川棚町立川棚小学校		6人	10月22日(学校行事)
福岡市立百道中学校特別支援学級		9人	11月5日(総合学習)
北九州市立中原中学校		12人	11月10日(総合学習)
大野城市適応指導教室		6人	12月4日(総合学習)
北九州市立千代中学校		41人	12月11日(総合学習)
北九州市立横代中学校		13人	12月12日(総合学習)
福岡市立博多小学校		124人	12月15日(図工)
		計26校	1,638人

◎職場体験学習

東福岡自彊館中学校	2人	5月25日～27日
福岡市立城西中学校	5人	7月9日、10日
福岡市立博多中学校	5人	8月18日～20日
福岡市立雙葉中学校	4人	8月20日、21日
福岡市立那珂中学校	5人	8月25日、26日
福岡市立宮竹中学校	5人	9月7日、8日
福岡市立東住吉中学校	5人	9月8日、9日
福岡市立平尾中学校	5人	9月8日～10日
福岡市立警固中学校	3人	9月9日、10日
福岡市立片江中学校	5人	9月16日、17日
福岡市立当仁中学校	5人	10月1日、2日
		計11校 49人

◎博物館実習

(5月から10月までの中で10日間程度)		
福岡大学	1人	
西南学院大学	2人	
筑紫女学園大学	1人	
九州産業大学	1人	
福岡教育大学	1人	
佐賀大学	1人	

◎夏期インターンシップ

福岡女学院高等学校	2名	8月3～7日
福岡市立福岡女子高等学校	2名	8月3～7日
福岡海星女子学院高等学校	1名	8月3～7日

ミュージアム施策事業

福岡ミュージアムウィーク

美術館・博物館の役割である「出会いの場」「知識の場」「発見の場」をより多くの人々に知ってもらうため、5月18日の「国際博物館の日」に福岡市内の11施設(福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市埋蔵文化財センター、「博多町家」ふるさと館、はかた伝統工芸館、王貞治ベースボールミュージアム、九州大学総合研究博物館、九州産業大学美術館、西南学院大学博物館、三菱地所アルティアム)が連携し、5月16日から24日まで様々な催しを開催した。

福岡アジア美術館の催し

□講演会

大友良英トークショー

5月23日(土)14:00~16:00

参加者:一般120人

場 所:あじびホール

□ギャラリーツアー

5月18日(月)、19日(火)、21日(木)、22日(金)14:00~14:40

参加者:一般40人

場 所:アジアギャラリー

□バックヤードツアー

5月17日(日)、24日(日)13:00~14:00

参加者:一般39人

場 所:バックヤード

□アジアの絵本の読み聞かせ

5月16日(土)、17日(日)、23日(土)、24日(日)

①11:30~12:00 ②13:00~13:30

参加者:未就学児と保護者123人

場 所:キッズコーナー

□滞在作家によるトーク

5月24日(日)

講 師:アンジー・シア(シンガポール)、
ファンコグラフィック(モルディブ)

参加者:一般37人

場 所:あじびホール

□FT5プレイバック① ヤン・ヨンリァン《悪夢》上映会

5月16日(土)

観覧者:一般38人

場 所:あじびホール

□FT5プレイバック② アニッダ・ユー・アリ パフォーマンス記録展

5月16日(土)~24日(日)

観覧者:一般5686人

場 所:彫刻ラウンジ

□その他

- アジアギャラリー観覧料無料
- 参加館を巡るスタンプラリー
- カフェ、ショップでの割引サービス



大友良英トークショー



バックヤードツアー



アニッダ・ユー・アリ パフォーマンス記録展

ボランティア事業

8つのグループに分かれて活動を行い、年度末にボランティア活動の登録更新をおこなった。6月には、研修バスツアーで開館したばかりの大分県立美術館を訪問。12～1月には新規ボランティアを募集し、応募者を対象に養成研修を実施した。

また、10年以上ボランティア活動を継続したメンバー(退会者も含む)を顕彰するため、感謝状贈呈式を3月に開催し、退会者のうちの希望者を対象に、幅広い活動で当館を幅広く支援していただくための活動グループ「あじほらフレンズ」を設立した。

活動内容およびグループ別のべ人数(ひとりが複数のグループで活動可)

平成27年4月現在

活動区分	活動内容	計
案内・解説	アジアギャラリーの作品解説や施設案内	68
図書資料	図書資料の整理・修理、配架	64
学芸資料	新聞記事のスクラップ、学芸関連使用の整理補助	52
展覧会情報	展覧会のチラシの整理、雑誌掲載記事の整理	21
広報	美術館広報誌や特別企画展などの印刷物の発送	29
読み聞かせ	絵本や紙芝居の読み聞かせ	30
活動支援	ボランティア向けブログの作成やメール配信、研修や親睦会の企画	14
交流	滞在美術作家・研究者の活動や地域交流イベントなどのサポート	222
延べ人数		500
ボランティア登録者数		222

活動

【案内・解説】

4月1日より活動開始。「あじびの魅力を伝えよう！」を年度目標に、開館日に毎日施設案内やアジアギャラリーの作品解説を行い(13:00～16:00)、学校を始めとする団体や個人の見学希望者に随時案内を行った。5月16日～24日の「福岡ミュージアムウィーク」では「ボランティアによるギャラリーツアー」を4回開催した。

【図書資料】

4月7日より活動開始。毎月10日・20日を中心として随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)活動をおこなった。「図書ボランティアセクションによる図書閲覧室特別展示」と銘打って特別企画展やミュージアムウィークに連動した図書資料の展示などを行った。

【学芸資料】

4月3日より活動開始。「元気に、楽しく、こつこつと！」を年度目標に、新聞スクラップやアーティストの資料ファイル製作などを随時(毎月2日以上、1日につき2時間以上)行った。

【展覧会情報】

4月2日より活動開始。「情報のデジタル化の促進」を年度目標に、毎月第1・3木曜および第2・4土曜を中心に展覧会のチラシやハガキの受入れとファイリング、館内掲示などを行い、雑誌の電子スクラップ作業などを行った。

【広報】

4月14日から活動開始し、「近隣ホテルへのチラシやポスターの配布強化」を年度目標に活動を行った。季刊広報誌「あじびニュース」および特別企画展のポスター、チラシを発送したほか、美術館近隣のホテルに館のリーフレットやポスター、チラシ等を随時設置依頼した。

【読み聞かせ】

4月12日より活動開始し、毎月第2火・日曜日に活動をおこなった(各日2回開催)。「アジア美術館らしい子どもも大人も楽しめる読み聞かせ」を目標に、展示作品に関連し絵本や紙芝居の読み聞かせを行った。また、グループミーティングの終了後には読み聞かせの自主研修なども行いスキルアップを図った。

【交流】

7月24日～8月20日に開催した「おいでよ！絵本ミュージアム2015」の会場で見守りや誘導を行い、10月17日開催の「博多リブレイン灯明」の設置、撤収作業を行った。また10月7日～11月4日には、滞在アーティストの作品に使用する紙製の花作りの活動を行った。



読み聞かせボランティア(雙葉幼稚園の見学)



交流ボランティアによる滞在制作サポート



ボランティア研修バスツアー

【活動支援】

4月9日より活動開始。「1歩進んだ交流活動—参加型研修会の充実とわかりやすい情報発信」を目標に活動を行った。研修バスツアーや滞在アーティストの歓迎会、各グループの当番が参加する全体ミーティング(連絡当番ミーティング)の開催などを行ったほか、ボランティアを講師にした研修会も初めて実施した。

《活動支援ボランティア主催のボランティア催事》

◇連絡当番ミーティング

5月30日、8月22日、11月7日

◇研修バスツアー

6月20日 大分県立美術館「モダン百花繚乱『大分世界美術館』」
観覧とトーク(教育普及担当:榎本寿紀さん)ほか

◇研修会

8月29日 「台湾現代アートの旅〜詰め詰めの3泊4日—アジ
美コレクション作家とFT作家を訪ね求めて—」
講師:柴田和音さん(案内・解説、交流ボランティア)

◇歓迎会

5月23日 第Ⅰ期レジデンス・プログラム

9月19日 第Ⅱ期レジデンス・プログラム

◇交流会

12月12日 第1部 黒田雷児事業管理部長によるトーク
第2部 親睦会

□その他

◇平成27年度ボランティア総会

2016年3月27日 13:00~14:20 於:あじびホール

◇福岡アジア美術館ボランティア10年感謝状贈呈式および交流会

2016年3月27日 15:00~17:00 於:あじびホール、会議室

◇担当学芸員によるボランティア向けギャラリートーク

展示替え毎に各2回実施

◇新規ボランティア募集

来年度に向けての増員を図るため、追加募集を行い、101人の
応募者が養成研修を受講した。

募集期間:2015年12月1日~2016年1月15日

募集人数:120人程度

養成研修:2016年1月26日~5月14日



感謝状贈呈式



新規ボランティア養成研修

広報活動

あじびニュース



Vol.60 2015.4.1発行

- 2015年度 年間スケジュール
- 2015年度 レジデンス・プログラムのご紹介
- 今年も開催！福岡ミュージアムウィーク2015
- 私の逸品—安永幸一さん
- あじびフェイスブックページ、始めました！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2015年4月～6月



Vol.61 2015.7.1発行

- イマジン—争いのない世界へ
- おいでよ！絵本ミュージアム2015
- I期のアーティストたち、制作への意気込み
- 福岡ミュージアムウィーク2015レポート①～FT5から生まれた作品の初公開～
- 福岡ミュージアムウィーク2015レポート②～大友良英トークショー～
- 私の逸品—山出淳也さん
- 壁も塗り替えて、アジアギャラリーが一新！
- 福岡アジア美術館インフォメーション2015年7月～9月



Vol.62 2015.10.1発行

- 一粒の希望—土地は誰のもの？！
- フシギ？の世界—ここではないどこかへ
- 第Ⅱ期始動！2人のアーティストが滞在します
- FT6への未知の道 ミャンマー・レポート
- ミュージアム・ショップが新しくなりました
- 「アジコレ」名品選の最新版！
- 私の逸品—藤浩志さん
- ジュピター・ブラダンが、大阪でレジデンス
- 福岡アジア美術館インフォメーション2015年10月～12月



Vol.63 2016.1.1発行

- 日韓近代美術家のまなざし—「朝鮮」で描く
- 韓国アート1965-2015
- 冬のおとなミュージアム 秘密—かくす・のぞく・あばく
- 私の逸品—堀川理沙さん
- シンガポール国立ギャラリーで、あじびの所蔵品が2年間の特別展示！
- レジデンス・プログラム第Ⅱ期レポート ディープに博多を表現したアーティストたち
- レジデンス・プログラム第Ⅲ期が始まります
- マレーシアからゲスト・アーティストがやってきます
- 福岡アジア美術館インフォメーション2016年1月～3月

規格 A4 8ページ 企画・発行 福岡アジア美術館 編集 木下貴子(CXB)

デザイン Vol. 60 荻原晋一(n4g.jp)、吉野英昌(ipenlgee)

Vol. 61-63 大村政之(クルール)

和文英訳 ステファニー・オリ

リーフレット

平成28年度展覧会リーフレット

2016.3.31発行

- 展覧会のご案内2016年4月ー2017年3月
- 交流ギャラリー
- レジデンス事業のご案内

企画

幅594×縦210mm(両面カラー・6つ折り)

企画・発行 福岡アジア美術館

デザイン 村上英峻

ホームページ

<http://faaam.city.fukuoka.lg.jp/>

コンテンツ

美術館について／基本理念、活動案内、施設概要、美術館ができるまで、
アジア美術館の歩み

コレクション／収集方針、主な作品、所蔵品検索

美術館だより／最新トピックス、バックナンバー

利用案内／利用案内、交通案内、館内マップ、FAAM CAFE

出版物・グッズ／出版物・グッズ、展覧会図録ほか、広報誌、オリジナルグッズ、PDFデータ(事業報告書ほか)

展覧会案内／展覧会最新情報、スケジュール

イベント案内／最新のイベント、過去のイベント

レジデンス事業／今年度の滞在者、過去の滞在者、事業報告書、募集要項

Facebook

<https://www.facebook.com/fukuokaasianartmuseum/>

ブログ

<http://faamajibi.blogspot.jp/>



所 藏 作 品

新所蔵作品数 H27年度

	購入	寄贈	合計
絵画	4	0	4
写真	1	0	1
映像	5	0	5
合計	10	0	10

※作品データは、
作家名(拠点)
タイトル
制作年
ジャンル 素材
サイズ(cm) の順で記載。

新所蔵作品一覧

- エンフバッティン・ハグヴァドルジ
(モンゴル)
野生の狼
2013
絵画 油彩・画布
120.0×120.0
- ラティーシュ T.(インド)
階段の途中
2014
絵画 油彩・画布
244.0×198.0
- キリ・ダレナ(フィリピン)
トゥンクン・ランギット
2013
映像 20分36秒
- ブラディーブ・タラワッタ(スリ
ランカ)
道景(ロードスケープ)
2012(2014)
写真 デジタルCタイププリント・光
沢紙、アルミ複合版マウント
56.0×300.0
- スタジオ・レポルト／菅野将弘
(撮影)、コサル・キエフ(出演)(カ
ンボジア)
我らをひとつに
2013
映像 4分48秒
- グエン・チン・ティ(ベトナム)
風景シリーズ#1
2013-2014
映像 4分50秒、アルバム、写真、スラ
イドほか
- バドゥザグディン・ナンディン・
エルデネ(モンゴル)
強烈な美をもとめて
2013
絵画 アクリル、コラージュ・画布
80.0×60.0
- バドゥザグディン・ナンディン・
エルデネ(モンゴル)
揺れる人生
2012
絵画 アクリル、コラージュ・画布
90.0×70.0
- ベマ・ツェリン(ブータン)
時の音
2010
映像 4分58秒

- ベマ・ツェリン(ブータン)
天上界
2011
映像 19分35秒



エンフバッティン・ハグヴァドルジ(モンゴル)
野生の狼
2013



ラティーシュ T.(インド)
階段の途中
2014

所蔵作品 2 貸出一覧

※平成27年(2015)年4月以降

貸 出 先:大分県立美術館
展 覧 会:開館記念展vol.1 モダン百花繚乱「大分世界美術館」
会 期:2015年4月24日(金)～7月20日(月)
貸 出:1点
入 場 者 数:137,292人

作者	作品名
1 ツァイ・グォチアン(蔡國強)	私はE.T. 天神と会うためのプロジェクト: Project for Extraterrestrials No.4

貸 出 先:ギャラリー現代(ソウル)
展 覧 会:Kwak Duck-jun: Timeless
会 期:2015年4月29日(水)～5月31日(日)
貸 出:5点
入 場 者 数:約1,000人

作者	作品名
1 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	Video 76-12
2 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	自画像 78
3 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	行為8210
4 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	行為8220
5 郭徳俊(クァク・ドッチュン)	行為8230

貸 出 先:森美術館、広島市現代美術館
展 覧 会:ディン・キュー・レ展:明日への記憶
会 期:2015年7月25日(土)～10月12日(月)(森美術館)
2016年3月19日(土)～5月15日(日)(広島市現代美術館)
貸 出:1点
入 場 者 数:196,562人(森美術館)、3,833人(広島市現代美術館)

作者	作品名
1 ディン・キュー・レ	南シナ海ビシュクン

貸 出 先:よこはま若葉町多文化映画祭実行委員会
 イベント:よこはま若葉町多文化映画祭2015
 会 期:2015年8月22日(土)~8月30日(日)
 貸 出:7点
 入 場 者 数:426人(あじ美セレクション 25人)

	作者	作品名
1	ナリニ・マラニ	しみ
2	バーニー・アービディ	愛国歌
3	バーニー・アービディ	マンゴー
4	ウォン・ホイチョン	暗い穴
5	山城知佳子	あなたの声は私の喉を通った
6	デチェン・ロデル	幸せの証明書を探して
7	ペマ・ツェリン	時の音

貸 出 先:シンガポール国立ギャラリー
 展 覧 会:Between Declarations and Dreams
 会 期:2015年11月24日(火)~2017年9月30日(18のみ2016年10月26日まで)
 貸 出:36点
 入 場 者 数:273,191人(2016年3月31日まで)

	作者	作品名
1	リー・キャンセン(李健省)	陰陽シリーズ 心とかたち II
2	ズルキフリー・B.ユソフ	権力 2
3	チャーチャーイ・ブイピア	皮膚の下の欲望
4	タン・ティチー(陳世集)	戦争の被害
5	タン・ティチー(陳世集)	指し示す
6	リン・ムホア(林木化)	母の愛情
7	リン・ムホア(林木化)	自画像
8	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #1
9	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #2
10	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #3
11	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #4
12	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #5
13	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #6
14	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #7
15	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #8
16	ハン・ティ・ファム	家族を再定義する #9
17	アグス・ジャヤ	水田の帰り

	作者	作品名
18	キエン・イムスリリ	音楽のリズム
19	チャムルアン・ウィチェンケート	悲しみ
20	ブラヤット・ボンダム	飼育
21	ド・ナム	作品名不詳
22	ホアン・ダオ・カン	奇跡の前進
23	ホアン・デック・チュアン	祝！国家は解放された
24	ホアン・チャン	ベトナムの奇跡の力 アメリカを追放し傀儡政権を倒せ
25	レ・ミン	さあ、子供たちの敵を討て
26	グエン・ディン・キュ	人間よ！これ以上罪を犯すな
27	グエン・チャン・ビン	子供を救え！アメリカの犯罪をやめさせよ
28	グエン・テ・キム	前線へ召集、僕等若者は行く
29	ファム・ヴィエット・ホン・ラム	ベトナム化戦争の悲劇(ベトナム対ベトナム)
30	チン・フォン	ハノイの少女 アメリカ軍戦闘機を撃墜
31	ヴ・チュン・ルオン	子供たちの未来のために
32	チュオン・シン	我々はベトナムを強く支持する、アメリカよインドシナから去れ
33	サヤー・チョン	王室の肖像
34	ジョゼフ・アングベルティ	アトリエ
35	サヤー・エー	ビルマ人親子
36	ウ・キンマウン	マンダレー

所蔵作品

3 修復一覧

	作者	作品名
1	FX ハルソノ	声なき声
2	ティト	話
3	ラティーシュ T.	階段の途中

所蔵作品

4 所蔵品等の掲載一覧

* 以下、発行が確認されたものに限る。

- 2014.12 Kaoru Kojima “Pictures of Beautiful Women: A Modern Japanese Genre and Its Counterparts in Europe, China, Korea, and Vietnam” *Review of Japanese Culture and Society*, vol. XXVI (Tokyo: Josai University, 2014)

作者	作品名
1 作者不詳	駐奉天中俄たばこ会社ポスター
2 ハン・ジイン／ジイン画室	アンカービールのポスター
3 美人画をみる女性	ト・ゴク・ヴァン

- 2015.3 田島奈都子「戦前期日本の印刷会社の中国進出と商業ポスターの制作に関する考察－中国語表記のポスターは果たして100%中国製なのか?!」『年報 非文字資料研究』第11号、神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター

作者	作品名
1 ハン・ジイン／ジイン画室(杭穉英／穉英画室)	ピンクのスカートの女性
2 ハン・ジイン／ジイン画室(杭穉英／穉英画室)	五洲大薬房ポスター

- 2015.4 後小路雅弘「東南アジアにおける《美術》の誕生と日本の戦争」『日本美術全集 第18巻 戦前・戦中 戦争と美術』株式会社小学館

作者	作品名
1 チト・ブアブット	上野公園、東京美術学校

- 2015.7 Atsushi Miura, “La construction de l’histoire de l’art au Japon à travers les échanges franco-japonais” *Perspective actualité en histoire de l’art* (Paris: Institut national d’histoire de l’art, 2015)

作者	作品名
1 チェン・ジン(陳進)	サンティモン社の女

- 2015.12 柿添康平「『小さい足』への希求 纏足の歴史」「チャイナドレスの歴史」『シリーズ山東文物9 豪華絢爛 中華の服飾芸術』山口県立萩美術館・浦上記念館

作者	作品名
1 ウィリアム・サンダーズ	纏足の上海婦人
2 ハン・ジイン／ジイン画室(杭穉英／穉英画室)	アンカービールのポスター

- 2016.2 片岡真美「アーティストインタビュー—小沢剛」『美術手帖』pp.145-159

作者	作品名
1 森錦泉	スンピン山の眺め

2016 陈振权『从无到有 马来西亚视觉艺术史』陈振权编发行

作者		作品名
1	チャン・ジューチー(張汝器)	林学大の肖像
2	ウォン・ホイチョン	粛清
3	タン・チンクァン(陳振權)	青い夜 11－悲劇的 1
4	タン・チンクァン(陳振權)	青い夜 11－悲劇的 2

入館者数

年度別入館者数

年度別	開館日数	常設展	特別企画展	貸館展覧会等	合計	1日平均
10年度	22		22,250		22,250	1,011
11年度	242	38,530	149,395	70,336	258,261	1,067
12年度	309	66,421	118,677	106,529	291,627	944
13年度	302	29,632	15,330	186,987	231,949	768
14年度	301	45,472	71,375	40,452	157,299	523
15年度	307	56,623	167,353	64,827	288,803	941
16年度	305	39,828	37,815	81,015	158,658	520
17年度	294	42,679	107,203	90,714	240,596	818
18年度	307	53,872	69,007	96,847	219,726	716
19年度	309	45,501	81,972	88,543	216,016	699
20年度	307	50,719	67,797	142,131	260,647	849
21年度	286	35,740	111,635	77,814	225,189	787
22年度	307	40,820	57,272	83,921	182,013	593
23年度	311	62,267	57,101	150,081	269,449	866
24年度	313	66,876	54,893	188,001	309,770	990
25年度	311	54,509	204,388	84,587	343,484	1,104
26年度	288	39,412	61,915	141,305	242,632	842
27年度	311	49,477	54,117	186,158	289,752	932
累計	5,132	818,378	1,509,495	1,880,248	3,918,369	

月別入館者数

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	25,098	60,757	13,745	21,136	48,326	36,580	40,040	21,973	9,141	8,910	8,353	7,054	301,113

あじびホール月別使用状況

月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	5	6	19	7	13	18	8	12	8	11	12	16	135
人数	267	463	1,118	457	1,607	2,545	714	987	471	732	1,106	894	11,361

あじびホール年度別使用状況

年度別	件数	人数
10年度	21	1,730
11年度	110	8,480
12年度	106	9,682
13年度	58	8,834
14年度	50	5,849
15年度	70	7,353
16年度	87	8,681
17年度	89	7,336
18年度	109	11,609
19年度	113	11,487
20年度	145	13,360
21年度	102	8,227
22年度	119	10,198
23年度	119	12,750
24年度	148	14,069
25年度	134	13,183
26年度	113	9,698
27年度	135	11,361
累計	1,828	173,887

あじびホール使用状況内訳

催物別	件数	人数
講演会	18	1,288
セミナー	13	827
アーティストトーク	7	425
ワークショップ	8	387
映画	42	5,183
演劇	2	290
音楽	13	1,128
落語	1	98
漫才	1	131
展示	14	662
その他	16	942
合計	135	11,361

常設展・特別企画展

展覧会名	開催期間	日数	計	1日平均	有料観覧者数				無料観覧者数
					一般	高・大	小・中	計	
常設展		299	49,477	165	9,301	1,764	-	11,065	38,412
特別企画展	おいでよ！絵本ミュージアム2015	7月24日－ 8月20日	28	50,351	1,798	14,737	525	5,483	20,745
	日韓近代美術家のまなざし―「朝鮮」で描く	12月17日－ 2月2日	36	3,766	105	1,824	100	-	1,924
	合 計		64	54,117		16,561	625	5,483	22,669
									31,448

貸館展覧会等 7階企画ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
浜田島〜The Hamada Island Ⅲ	4月 1日〜 4月 5日	4	1,333	ロックミュージシャンの浜田吾吾と35年にわたりデザインと写真で関わり続けているグラフィックアーティストの田島照久が、写真、絵画、映像、立体と、あらゆる表現手段を駆使した150点以上の作品を展示。
藤崎節子 歴史を伝える古布の物語ーヘリテージ・キルト展ー	4月 9日〜 4月14日	6	1,926	2004年 家庭画報準大賞 並びに2006年 家庭画報大賞作品をはじめ一針一針縫い刺して作品に命を吹き込んだ古布で創るキルトを27展展示。
Heart Art in Fukuoka 〜福岡にアートが集う日〜	4月 9日〜 4月14日	6	1,701	福岡にアートが集う日と題し、全国で活躍する様々なアーティストを迎えてオールジャンル約150点を展示する展覧会。
木梨憲武×20years Inspirationー瞬間の好奇心	4月18日〜 5月24日	32	60,756	描きたいものを自由に描くスタイルで作品制作を続けている木梨憲武が、制作を始めた1994年頃の作品から新作まで、約20年に渡って制作された絵画を中心に、ドローイング、オブジェ、映像、ガラコイック、ピースコラボなど、300点を超える作品を展示。
第23回 アジア美術家連盟日本委員会展	5月28日〜 6月 2日	6	1,002	洋画、日本画、版画、彫刻(立体作品)総数約100点を展示。
K-ADC Award 2015	6月 4日〜 6月 9日	6	1,839	九州在住のアーティストが集まり、仕事を持ち寄り、競い合い、親睦を深め、広告ポスターやCM、新聞・雑誌やパッケージなど約1,300点を展示。
「想いが誘うまに」川久保正登陶展	6月11日〜 6月16日	6	1,167	川久保正登氏の陶器110点を展示。
Art6G展	6月11日〜 6月16日	6	836	佐賀県内の女性作家6人が会派の枠をこえ、近作を中心とした具象や抽象の洋画作品、約数十点を展示。
中村洋一輩ペンスケッチ30年記念展 PART2	6月18日〜 6月23日	6	1,062	30年目の記念展パート2として福岡県内の町村の風景画を中心に、これまで描いてきた海外の風景や人物画・動植物画など全部で190点の作品を展示。
花と光のフェスティバル「おしやね手づくりアート作品展」	6月18日〜 6月23日	6	1,477	自然の草花をそのまま押し花にして額装したものや、ステンドグラスの雰囲気を手軽に楽しめるグラスアート、アイロンひとつでオリジナルの洋服やアクセサリーなどが作れるアートプリントの他、レカンフラワー、シルエットアート、タイルクラフト作品ナド約300点展示。
アジア現代彫刻会国際交流展	6月25日〜 6月30日	6	503	日本、韓国、中国、台湾の作家が制作した現代彫刻約60点を展示。
姚明水墨画書道展	6月25日〜 6月30日	6	789	姚明氏が「国際公募、第9回国際書画大賞展」にて日本外務大臣賞を受賞作品と中国青島首屆国際双年展に入選した作品「草原牧歌」などの水墨山水画作品を中心とした、約60点を展示。
現代水墨画書道展	6月25日〜 6月30日	6	562	日中芸術文化交流を目的として、制作の過程で新しい素材、モチーフ、表現手法により、伝統的な水墨画の表現の新しい効果で、一つの作品から平面と立体の異なる受け取り方が出来る作品を展示。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール写真展「I's Island」	7月 2日〜 7月 7日	6	656	九州産業大学芸術学部写真映像学科、百瀬ゼミナール所属の学生24名による、それぞれのテーマに沿って「しま」という結びつきのもと撮影を行った写真展。
中・日・韓 アート・コスモス交流展(宇宙とは？)	7月 2日〜 7月 7日	6	666	中・韓・日コンテンツ交流展は混迷から発展へ向けての一期一会の出会いを主題とし、国家という枠組みを超え従来の既成概念をとりはらって人と人との真の交流をめざす。
田中 千智個展 はてしない物語	7月 2日〜 7月 7日	6	910	福岡を拠点にし制作活動を行っている画家田中千智の個展。F120〜F130号キャンバス15枚の新作絵画を展示。
第43回日本の書展 九州展	7月 9日〜 7月14日	6	1,794	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂に紹介。 日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠15人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など410点の作品を展示。
第3回 九州国展	8月27日〜 9月 1日	6	824	毎年5月国立新美術館で行われる「国展」の九州支部展で九州・山口・沖縄在住の国展出品者と新人69名の作品70展を展示。ジャンルは絵画、彫刻、写真、版画の4部門。
見て、触れて、遊ぶ 光と影のワンダーランド 魔法の美術館	9月 7日〜10月18日	36	52,342	「魔法の美術館」は、「見て」「触れて」「参加」できる、アート作品が一堂に集まった、全く新しい体験型の展覧会です。アーティストたちが作り出す光と影の不思議な空間では、大人も子どもも時間を忘れ、夢中になって遊べます。
砂畠睦子糸の世界	10月22日〜10月27日	6	605	フランスの刺しゅうからはじまり、糸の自由表現を求めて、公募展、個展開催を経て、40年の歩みを展示。
第16回 「木曜会」作品展	10月22日〜10月27日	6	542	会員各自が1年間に撮り溜めた作品を出品。作品は風景、祭り、スナップ等いろいろなジャンルの中から各自が選んだ作品2点づつを展示。
ジュディ・オング倩玉 木版画の世界展	10月31日〜12月 6日	32	18,690	ジュディ・オング倩玉の画業40周年を記念し、日展特選作品、入選作品を含む、初期の作品から最新作品までを一堂に展示。福岡会場特別展示として、「博多山笠」で有名な櫛田神社をモチーフとした最新作「恩光 櫛田神社」を初公開。
溪雪 墨の世界	2月11日〜 2月16日	6	371	書家 佐近溪雪の書家人生50周年の個展。一つの作品の中でいくつもの書体を使い「誰にでも読める」「勇気や元気がでる」「けては派手ではないが 見るたびに新鮮で飽きがこない」をコンセプトとし、墨の濃淡を生かした絵画のような立体的で字の美しさを表現した作品を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
近畿大学 産業理工学部 建築・デザイン学科 平成27年度 卒業研究展示会 KenDe Works 2015 卒展。	2月11日～ 2月16日	6	369	建築設計から家具制作、WEBデザインなど、建築・デザイン学科で幅広くものづくりを学んだ学生達の卒業制作展。
第53回 オール福岡大学写真展	2月11日～ 2月16日	6	397	創部65年を迎えた福岡大学芸術文化部会写真部の写真展で、モノクロフィルム写真を中心とした作品やカラー写真、デジタルカラー写真など、総計100展ほどの作品展。
第5回21世紀書画作家国際交流展 in 福岡	2月18日～ 2月23日	6	822	書・水墨画・絵画による日本、中国、韓国、台湾の作家180名の展覧会。
2015 Asia Digital Art Award Fukuoka	2月25日～ 3月 1日	6	746	アジアの文化、風土に根差した世界レベルのメディアアート作品の公募展。15回目となる今回は、961点の応募の中から厳選した、65点の作品を展示。
イメージラボ写真教室 第16回作品展	3月 3日～ 3月 8日	6	1,117	福岡市内の3会場で17年にわたって開催されている写真教室。200点ほどの作品、写真集を展示。
Voice of Asia -2016国際大学美術/書道交流展 in Fukuoka	3月24日～ 3月29日	6	754	アジアの大学において美術や書を専攻する、学生・教員の作品279点の絵画・彫刻・工芸・デザイン・書道作品を展示。
松永 豊秀遺墨展 併催30周年記念蒼松会展	3月31日(～4月5日)	1	104	佐賀を本拠にかな書道研究蒼松会を主宰。平成25年に64歳で死去した、日展会友 松永豊秀の遺墨展に、会の30周年を記念した会員展を併催した展覧会。遺墨展は、蒼松会展を中心に日展、読売展、個展などへの出品作の他、未発表も含め約100点。会員は約100名が1点ずつ近作を発表。
合計		255	156,662	

貸館展覧会等 8階交流ギャラリー

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
JIRO' S Paradise	4月 2日～ 4月 7日	6	519	人物画105枚(鉛筆画、デジタル画・マジック画・墨画)、イラスト42枚(墨画・デジタル画)、文章・挿絵30枚(墨画・マジック画、デジタル画)、漫画3作品58枚(ペン画、デジタル画)、写真50枚を展示する。
水墨画の世界へようこそ 宗錫清現代中国画展	4月 9日～ 4月14日	6	268	中国の若手画家宗錫清(ソウセキトウ)の作品。宗錫清の「蓮の花」と「ピエロ」などの作品30枚を展示。
素花 ポシャギ展 第二回 つなぐ、結ぶ一人と布	4月16日～ 4月21日	6	814	ボジャギと組紐の作品を約300点展示。
工筆画の世界へようこそ 韓非工筆画展	4月23日～ 4月29日	7	359	中国の若手画家韓非(カンヒ)の作品展。彼が表現する「花鳥を中心に約40枚の作品を展示。
2015 International Photography 展 Light, Nature & Human	5月 1日～ 5月 6日	6	369	韓国で活動している国際的で有名な招待作家と写真活動を活発に行っているフォトグラファー、日本フォトグラファーが写真でコミュニケーションする交流展示。
第7回福岡YPC写真展	5月 8日～ 5月12日	5	576	会員がこの一年間テーマにそって撮影した作品(風景・スナップ・お祭りなど)47展のほかに「特別展示作品」として「第49回福岡市美術展」、「第70回福岡県美術展覧会」の「入賞&入選作品」など総計69展を展示。
雪の山 何金安油絵逸品展	5月14日～ 5月19日	6	321	中国の若手画家何金安(カキンアン)の代表作品30点を展示。
松田芙美子アート表装 「游心会」作品展	5月21日～ 5月26日	6	695	古い着物や帯、掛ふくさなどを使って制作した屏風、掛軸、額装、パネルなど約120点を展示。福岡県内受講生と講師、主宰松田芙美子の作品を一同に展示する1年に1度の作品展。
第15回 福岡江古田会アート展	5月28日～ 6月 2日	6	519	日本大学芸術学部校友会「福岡江古田会」によるアート展。30歳～80歳代までの日大芸術学部卒業生の写真、絵画、陶芸などを展示。
第12回NHK福岡文化センター平川幸児写真教室 写真展「存在」	6月 4日～ 6月 9日	6	592	テーマ《存在》は、「写真は対象と相対する時の心の反映に他ならない。そして、写真表現は自己の存在を示す標である。」をコンセプトのもとに、16名の視点で捉えた各自の組写真形式による作品を展示。
「刺し子にドキッとして40年」	6月11日～ 6月16日	6	959	日本の伝統的衣装刺し子・古典的紋様とアートなデザインになっています。40年間刺し込んだ日常着、ドレス、着物、ベッドカバー、こたつ布団等の作品約100展を展示。
東芙美子 日本画自選展 -美しい長野の自然-	6月18日～ 6月23日	6	650	たわわに実をつけた大きなりんごの樹、白樺の林、雪解けと同時に顔を出す水芭蕉等々、長野の自然を主に小値賀の海、野の花を含めて60点余りを展示します。
藍と絞り シボリコミュニティ福岡第15回作品展	6月25日～ 6月30日	6	664	タペストリー(最大180×300cm)の大きさを30枚、立体を展示する。
阿部直昭 絵画教室 “彩友会”展	7月 2日～ 7月 7日	6	542	生徒60名に依る小作油彩画の力作展。
第43回日本の書展 九州展	7月 9日～ 7月14日	6	899	現代書壇を代表する書家の秀作を、会派を超えて一堂に紹介。日本芸術院会員など、書壇の最高峰とされる巨匠15人をはじめ、代表作家や委嘱作家、各県からの選抜作家など410点の作品を展示。
荒巻ゼミナール写真展	7月16日～ 7月21日	6	531	今回は地元をテーマとした写真展「じもてん」。4年生8名、3年生10名、研究生1名、教員1名による作品を展示。
第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展 パート1	7月25日～ 8月10日	17	1,063	本年度第1期のレジデンス・プログラムとして滞在制作をおこなった、アンジー・シア(シンガポール)とファンコグラフィック(モルディブ)の二人のアーティストの成果を展示。
児童絵画展「わたしと先生」	8月13日～ 8月18日	6	1,040	福岡地区の小学校2年生を対象に、「わたしと先生」というテーマで絵画の募集を行い、約200点の優秀作品を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
第20回セキサバ倶楽部写真展	8月20日～ 8月25日	6	420	プロのカメラマン達が、風景、人物、静物、ドキュメント、スナップ等々の被写体を各自の視点でとらえモノクロ、カラー、デジタル、アナログ等様々な技法を駆使し表現した写真作品展。
福岡インディペンデント映画祭2015(FIDFF2015)	8月27日～ 9月 1日	6	638	全国から集まったコンペティション応募作品を中心に長編、短編、ジャンルも様々な映像作品145作品を上映。
人道の外交官「杉原千畝」と命のビザを繋いだ日本人たち展	9月 3日～ 9月 8日	6	2,008	戦後70年を期に人道の外交官として世界的に知られた杉原千畝を中心に杉原の命のビザを繋いでいったウラジオストクの根井三郎総領事代理、そして日本に入国したユダヤ難民の出国に東奔西走にユダヤ教神学者小辻節三、この三人がいてこそユダヤ難民の命が救われました。貴重な写真や遺品を年代順に展示します。
第13回九大美術会展	9月10日～ 9月15日	6	567	九大美術会展は、九大美術部OB展(平成6年発足)を平成20年九大OBが参加できる「九大美術会展」と改め、OB展より数えて今回で13回を向かえます。抽象・具象とジャンルを問わず、油彩・水彩等の作品約50点を展示。
艶もの四人展	9月25日～ 9月29日	5	435	つやざき工芸倶楽部は、津屋崎(福岡県福津市)を拠点に国内外に作品を発表している作り手のプロジェクト。染織・金工・革・磁のジャンルの異なる4人のアーティストによる「艶(つや)」をテーマにした作品展。
山々燦々 九州の名峰	10月 1日～10月 6日	6	1,653	九州の山(屋久島、桜島など)の四季を大判で約80点を展示。
宇野信子 磁器上絵付展	10月 8日～10月13日	6	600	白磁に専用絵具で絵付けし、何度も高温で焼きつけた作品。人物画、鳥、風景、赤毛のアンや花の妖精シリーズや、羽子板や葵祭も展示。その他古布のチメンで博多山笠をねずみに担がせた押し絵(おきあげ)を作成展示。
蔚山大学校デザイン大学視覚デザイン学科海外卒業作品展	10月15日～10月20日	6	225	蔚山大学校デザイン大学の2015年度卒業制作の作品を展示。
発願	10月22日～10月27日	6	197	「発願」をテーマに韓国伝統の仏教美術を継承しながら、現代的な視点で新たな解釈をした、この時代を代表する作品を水彩絵の具でかかれた仏画中心に約30点展示。
“Past” Satoru Sachika Exhibition	10月29日～11月 3日	6	603	デザインプロデューサー・グラフィックデザイナーで活躍するSATORU【平松 暁】の作品と自然環境のテーマ性を独自の物語から次世紀へ創発する小説家・アーティストSACHIKA【沙真】のデザイン展。
ぶらり葦ペンの会10周年記念展	11月 5日～11月10日	6	733	川原などに生えている葦の茎でペンを使い、絵を描いているグループの作品展。多様な葦ペンの線の美しさ、一人一人個性豊かな作品約100点を展示。
日本風景写真協会福岡第一支部 第14回写真展「四季瞬景」	11月12日～11月17日	6	782	自然が織り成す四季の移ろいなど原風景を求め、「四季瞬景」というテーマで撮影した写真を70点展示。
第14回アーティスト・イン・レジデンスの成果展パート2	11月21日～12月 7日	15	774	第2期のレジデンス・プログラムとして滞在制作をおこなった、ジュジュ・ユ(韓国)とチュンリン・ジョリーン・モク(香港)の二人のアーティストの成果を展示。
東京藝大×福岡アートプロジェクト「明日への坩堝」	12月10日～12月23日	13	680	アジアの中の日本、日本の中のアジアをテーマとし新人作家の育成を図る展覧会。東京藝術大学関連のアーティストと福岡を拠点とするアーティスト、釜山のアーティストのアジア圏の新進作家10名による展覧会。
九州産業大学芸術学部写真映像学科 百瀬ゼミナール写真展「point」	1月 7日～ 1月12日	6	415	九州産業大学芸術学部写真映像学科、百瀬ゼミナール所属の学生24名による写真展。「point」〈突出した個性〉〈着眼点〉〈カメラを向ける〉をテーマに、24名それぞれが「point」で撮影した写真を展示。
第14回福岡市立高等学校合同文化発表会	1月14日～ 1月19日	6	259	福岡市立の高等学校4校の美術部や書道部をはじめとする文化部活動の作品を展示。
第21回福岡県幼児画展	1月21日～ 1月26日	6	2,359	福岡県内の幼稚園・保育園・保育所に在園する園児から出品を募り、選ばれた450点の入賞作品を展示。
博多区文化・芸術展	1月28日～ 2月 2日	6	507	博多区に在住、または通勤、通学している皆さんから応募があった「絵画」「写真」「書」「グラフィックデザイン」の作品を展示。
九州産業大学芸術学部・大学院芸術研究科卒業・修了制作展2016秀作展	2月 4日～ 2月 9日	6	617	九州産業大学芸術学部芸術研究科の学生による卒業制作秀作展。ビジュアルデザイン、プロダクトデザイン、空間デザインと幅広い領域に分かれて50点程度の作品を展示。
博多織デベロップメントカレッジ 卒業作品展 ハカタテキスタイル のぞく・さわる・あそぶ	2月11日～ 2月16日	6	905	9回目の卒業作品展である今回は、『ハカタテキスタイルのぞく・さわる・あそぶ』をテーマに、8期研究科生・9期生がこれまでに制作した博多織の帯・着物を展示。
福岡大学・西南学院大学文芸部合同展示会「起草」	2月18日～ 2月23日	6	251	様々なテーマで書かれた、100点を超える小説や詩作品、そして今回の目玉である「言葉に囲まれた空間」という理念のもと作った「詩空間」などを企画。
九州産業大学・造形彫刻合同作品展	2月25日～ 3月 1日	6	256	九州産業大学芸術学部美術学科造形彫刻コースの在校生や大学院生、OB、専任、非常勤講師の様々な表現方法がなされた作品を展示。
写真展 TOIRO4 ー移ろいゆくモノー	3月 3日～ 3月 8日	6	754	奥勝浩主催のイメージラボ写真教室出身のOBが集まって開催する写真展。100点程度の作品を展示。
第72回 福岡教育大学 大学院美術教育コース 修了制作展	3月10日～ 3月15日	6	438	福岡教育大学大学院美術教育コース27期生による修了制作展。書道、立体構成、絵画、油彩画等幅広い作品を展示。
Drift - Lives and Landscapes -	3月17日～ 3月22日	6	439	日本、韓国、カナダ。ひとけのない静かなる風景のなかを感じる死の気配を焼きつけたモノクロ作品26点(溝越)と自分にとって「女性」とはなにか、日常で感じるわだかまりを撮影したカラー作品20点(福岡)を展示。

展覧会名	開催期間	日数	観覧者数	内容等
脱蟬社書展	3月24日～ 3月29日	6	486	福岡教育大学大学院修了生を中心に結成したグループ脱蟬社の書の作品展。
キルトinライフ おくむらグループ展	3月31日(～4月5日)	1	115	キルト・パッチワークで作成したベッドカバー、ベビーキルト、タペストリーバッグ等生活に使えるものを作成した「キルトinライフおくむら」のグループ作品展。
合計		291	29,496	

活動記録

2015年

- 5月16日 福岡ミュージアムウィーク開催
(5月24日まで)
- 5月20日 招聘作家アンジー・シェ氏来館
(7月28日まで)
- 招聘作家ファンコグラフィック氏来館
(7月28日まで)
- 5月27日 壁修復のためアジアギャラリー閉室
(6月10日まで)
- 6月11日 「イマジネー争いのない世界へ」展開催
(9月1日まで)
- 7月16日 ミュージアムショップリニューアルオープン
- 7月24日 「おいでよ！絵本ミュージアム2015」開催
(8月20日まで)
- 9月9日 アジアンパーティー2015キックオフイベント
- 9月16日 招聘作家チュンリン・ジョリーン・モク氏来館
(11月24日まで)
- 招聘作家ジュジュ・ユ氏来館
(11月24日まで)
- 10月17日 博多リバレイン灯明開催
(第21回博多灯明ウォッチング2015同時開催)
- 11月24日 シンガポール国立ギャラリー開館
記念式典に森英之館長が出席
- 12月4日 「アジアコレクション100」発売
- 12月17日 「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」開催
(2016年2月2日まで)
- 冬の大人ミュージアム 秘密ーかくす・のぞく・あばく
開催
(2016年4月14日まで)

2016年

- 1月25日 福岡市美術館・博物館とともにGoogle Art Projectに参加
- 2月 「日韓近代美術家のまなざし『朝鮮』で描く」展が美術館連絡協議会より美連協大賞受賞
- 2月15日 研究者ダイアナ・キャンベル・ベタンコート氏来館
(3月26日まで)
- 2月25日 研究者ミンストレイル・クイ・チン・チー氏来館
(3月25日まで)
- 2月25日 ブログ開始
- 3月26日 アジア美術館Cocktail Night

黒田雷児

【執筆】

2015.12 「攪乱と越境 アジア美術館コレクションにおける『種別』の概念」、福岡アジア美術館編『アジアコレクション100』、福岡市文化芸術振興財団

【講演等】

2015. 4.24 「獅子身中之虫(Parasite in a Lion: Still Remaining Roles of Fukuoka Asian Art Museum)」、台湾藝術大学・春之文化基金会主催、台北当代美術館

2015. 9.20 「行動主義不是藝術？ 藝術不是行動主義？(Activism is not Art? Art is not Activism?)」、2015亞雙策展論壇、國立臺灣美術館(台中)

【その他】

2015.11~12 九州産業大学芸術学部大学院非常勤講師

2016. 3. 4~ 3. 8 DNP美術振興財団の助成による「フィリピン・マルコス時代における政治的グラフィック・アート」研究のためマニラで調査

ラワンチャイコン寿子

【展覧会企画】

2015. 6.11~ 9. 2 小企画展「イマジン〜争いのない世界へ」

2015.12.17~2016. 2. 2 共同企画展「日韓近代美術家のまなざし〜『朝鮮』で描く」

【執筆】

2015. 4. 1 コラム「朝鮮美術展覧会」ほか作家作品解説、「日韓近代美術家のまなざし〜『朝鮮』で描く」

2015. 6. 3 対談「Toward the Modernity: Images of Self & Other in East Asian Art Competitions at the Fukuoka Asian Art Museum」『Discuss Japan, Japan Foreign Policy Forum』No.26

2015. 6.11 「イマジン〜争いのない世界へ」展覧会冊子

2016. 1.25 「70年目の夏におくる展覧会。『イマジン〜争いのない世界へ』」、『REAR』、pp.102-104

【講演等】

2015. 9.11 「午後のお茶を一緒に〜美術の窓からアジアが見える〜」、青葉公民館(福岡)

2015.12.18、12.19 学芸員によるギャラリートーク(日韓近代美術家のまなざし展)、福岡アジア美術館

2016. 1.12 「日韓近代美術家のまなざし展」、城西ロータリークラブ(福岡)

【その他】

2015. 4~2015. 8 九州大学非常勤講師

2015. 4~2016. 3 九州藝術学会幹事・『デアルテ』編集委員

2015. 6~ 7 第10回ヒロシマ賞選考委員

2016. 3 「日韓近代美術家のまなざし〜『朝鮮』で描く」展により美連協大賞受賞

中尾智路

【展覧会企画】

2015. 9. 3~12.15 コレクション展「一粒の希望—土地は誰のもの?!」、福岡アジア美術館

2015.12.17~2016. 4. 5 コレクション展「秘密—かくす・のぞく・あばく」、福岡アジア美術館

【執筆】

2015. 9 「『福岡アジア美術トリエンナーレ』の存在理由」、『自治体国際化フォーラム』Vol.312、pp.4-6

2016. 1 「尊い日常からの逸脱と回帰」『ZENBI 全国美術館会議機関誌』Vol.9、pp. 8-10

2016. 2 「反転する世界へ」『Local Prospects—海をめぐるあいだ』(図録)、三菱地所アルティウム、p.2

【講演】

2015. 7.26 「『大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ』アジア・アート・プラットフォーム シンポジウム」、十日町情報館(新潟)

2015. 9.11 「『アジア現代美術展2015』国際セミナー」、全北道立美術館(韓国)

【その他】

2015. 4 黄金町バザール2015アーティスト公募審査員

2015. 9 第19回文化庁メディア芸術祭アート部門選考委員

2015.10 第40回宮崎市美術展平面部門審査員

2015.10 2015アジアデジタルアート大賞展審査員

五十嵐理奈

【展覧会企画】

2015. 3.26～ 5.26

コレクション展「うるわきイスラーム・スタイル」福岡アジア美術館

2015. 9. 3～12.15

コレクション展「フシギ?の世界—ここではないどこかへ」福岡アジア美術館

【執筆】

2015. 5

「補論7 日本におけるインド・イメージ」『現代インド叢書6 環流する文化と宗教』東京大学出版、2015年、pp.246-249

2015. 8

「油彩画」「年画・挿絵・アニメーション」「彫刻」および「作品解説」、(公財)日中友好会館文化事業部、奈良県立美術館、長崎県美術館、福岡アジア美術館編『第12回全国美術展受賞優秀作品による「現代中国の美術」 百花繚乱—中国リアリズムの煌めき』、(公財)日中友好会館、pp.28、84、92

2015.10

「FT6への未知の道—ミャンマー・レポート『雨季のヤンゴンで』」『あじびニュース』vol.62、福岡アジア美術館、p.5

2016. 3

「貝殻と水にもぐる蓮 2」『女たちの21世紀』No.85、2016年3月、p.1

【講演等】

2015. 8.23

「よこはま若葉町多文化映画祭」福岡アジア美術館所蔵映像作品上映の関連トーク、シネマ・ジャック&ベティ(横浜)

2015.11. 3

「ミャンマー基礎知識トークセッション——ミャンマー・アートのいま」『フェスティバル/トーキョー15 アジアシリーズVol.2』[他、田村克己]、ホテルグランドシティ池袋(東京)

2015.11.25

「福岡アジア美術館で働くこと:学芸員×研究者」『一橋大学 第4回アカデミック・キャリア講習会「博士課程と多様なキャリア」』、一橋大学(東京)

2016. 2. 6

「Regenerating Fukuoka Asian Art Museum: Collection of South Asian Art」, "Panel 4: Collecting South Asian Art in a Non-Western Institutional Context", Dhaka Art Summit 2016, Bangladesh Shilpakala Academy Auditorium (Dhaka).

【その他】

2015. 4～2016. 3

ポーラ美術振興財団 平成27年度 美術館職員の調査研究助成「ミャンマー現代美術の変遷1970—2015—美術作家サンミンのライフヒストリーを通して」

山木裕子

【講演等】

2015. 8. 2

「アジア現代美術とアーティスト・イン・レジデンス」大阪大学 中之島センター

2015.11.26

「アートマネジメントセミナー2015 福岡を知る1福岡でアートにかかわる」(公財)福岡市文化芸術振興財団

2016. 1.29

「学芸員の仕事について」福岡市立長丘小学校

蒲池昌江

【その他】

2015. 9.～2016. 6. 3

中村学園大学教育学部非常勤講師

柏尾沙織

【展覧会企画】

2015.12.17～ 4.19

コレクション展「韓国アート1965-2015」、福岡アジア美術館

【その他】

2015.12. 8～12. 9

「第2回東南アジア・キュレーター・ワークショップ」、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター(ハノイ)

概 要

名簿

(2015年4月1日時点)

福岡アジア美術館美術資料収集審査会委員

水 沢 勉	神奈川県立近代美術館館長
後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
後 藤 新 治	西南学院大学教授
ソボン・ロドボン	チェンマイ大学美術学部准教授(タイ)

福岡市美術館協議会委員(福岡アジア美術館を含む。)

会 長	後 藤 新 治	西南学院大学国際文化学部教授
副会長	龍 秀 美	詩人
委 員	樺 島 穰	和白東小学校校長
//	田 畑 弘 行	元岡中学校校長
//	古 川 彰	博多工業高等学校校長
//	木 内 潤 子	福岡市社会教育委員
//	坂 田 美 和 子	福岡市PTA協議会副会長
//	藤 本 昌 代	(公社)福岡市老人クラブ連合会理事
//	渡 邊 敬 一	福岡市青少年団体連絡会議理事
//	植 野 か お り	立花家史料館館長
//	後 小 路 雅 弘	九州大学大学院人文科学研究院教授
//	宇 田 川 宣 人	アジア美術家連盟日本委員会日本代表
//	榊 晃 弘	福岡市美術展運営委員長
//	友 添 泰 典	(公社)福岡県美術協会理事長
//	原 田 真 紀	ママとこどものアートじかんプロジェクト代表
//	深 野 治	「西日本文化」編集長
//	藤 枝 守	九州大学大学院芸術工学研究院教授
//	室 岡 祐 司	九州産業大学商学部観光産業学科講師

福岡アジア美術館職員

館 長	森 英 之
副 館 長	白 石 伸 彦
事業管理部長	黒 田 雷 児
管 理 課 長	西 島 雅 一
管 理 係 長	大 庭 か お る
事 務 職 員	上 橋 修 治
事 務 職 員	小 島 美 香
事 務 職 員	大 庭 隼 人
嘱 託 員	矢 野 隆 俊
嘱 託 員	高 木 寿 子
嘱 託 員	藤 田 日 出 子
学 芸 課 長	黒 田 雷 児
収 集 展 示 係 長	ラワンチャイクン寿子
学 芸 員	五 十 嵐 理 奈
学 芸 員	中 尾 智 路
交 流 係 長	松 浦 仁
学 芸 員	金 子 裕 子
嘱 託 員	渡 利 直 弘
嘱 託 員	蒲 池 昌 江
嘱 託 員	大 野 和 則
嘱 託 員	柏 尾 沙 織

発行 2017年■月■日
福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
<http://faam.city.fukuoka.lg.jp>
デザイン 城島印刷株式会社
印刷 福岡アジア美術館
著作権 2017年(禁無断転載)



この紙は地球環境保護のため、
再生紙を使用しています。

